

HEADLINE

表

1. センター試験へ向けて

裏

2. 受験科目を考える

3. 講師紹介～大月校舎から～

編集後記

Topic1 センター試験へ向けて

センター試験まであと3か月。センター試験だけがすべてではありませんが、とても重要な試験であることは間違いありません。3年生のみなさんは11月中旬まで全国模試の予定がぎっしり。時間差で返ってくる模試結果の合否判定に苦しめられる時期が続きます。そこで、今回の特集はセンター試験についてです。

① センター試験で何が決まるか？

正確に言うと何も決まりません。しかし、ある程度の選択肢は絞られます。特に中堅から上位の国公立大学においては、2次試験で挽回できるチャンスは極々限られます。言葉を選ばなければ、何も決まらないというのは合否が出る試験ではないからで、ほとんどのケースで合格発表時には相応の結果が出ます。もう一度気を引き締めてセンター試験に臨んでください。

② センター試験とは、本当に簡単な試験か？

これは、3年生のみなさんは十分に承知していると思います。“簡単”とは“2次試験や上位私立大の入試問題に比べて”ということであり、誰もが解きやすい、小学校の確認テストのような誰でも高得点が取れる試験ではないということです。1, 2年生のみなさん、簡単な試験ならば3年生のみなさんがこれほど必死に勉強するはずがありません。今のうちから真剣に取り組みましょう。特に2年生は秋季講座がスタートしています。取り組みたい内容があれば、どんどん文理の先生に相談してください。

③ 2次試験での挽回は可能か？

この時期なので、敢えて伝えます。センター試験でボーダーラインを20～25点(大学配点で。以下同。)以上下回るようなことがあれば、挽回はとても厳しいでしょう。大学ごとの配点が違うので一概には言えませんが、25点を2次試験で取り返すということは、数学で考えると、ボーダーライン上の受験生より1問多く正解しなければなりません。センター試験で自分よりも高得点を獲得した相手より、センター試験よりも難しい問題で1問多く正解するという事はとても難しいことです。つまり、国公立大学受験生のほとんどは「センター一発勝負」と考えてください。これが受験の厳しさで、決して不公平ではありません。ただし、このコメントはセンター試験直後から指導現場では封印されます。それは最後まで希望をもち受験に向かわせるためで、そのときの現実的な指導です。

④ センター試験で目標点を獲得できたら安心か？

自己採点にミスがなく、ボーダーラインよりも50点以上超えているようならば安心ですが、そうでもなければのん気ではられません。合否判定がCの人の合格率はおおよそ50%程度、半々です。つまりその集団にいる以上はボーダーラインより5～10点上回ったとしても厳しい2次試験になります。そのため、文理学院では一部の生徒を除き12月～センター試験直前までの指導は“センター試験一色”になります。課題をしっかりと見極め、質の高い勉強をしましょう。

つまり・・・ズバリ言います。大逆転の一番とはセンター試験のことです！

これからの注意点 高校3年生のみなさんへ

① 体調管理をしっかりと。

寒暖の差が一層大きくなり、疲労も蓄積されています。風邪をひきやすい時期です。そして疲労がたまると虫歯も疼きやすくなります。早い時期に一度歯医者さんに行きましょう。

② 目的意識をもつ。

将来のため、というような大きなものではありません。どのような問題に対処できるようにこのテキストを使う、この問題を解く、といった少し細かい内容です。なぜなら、こういった目的に合わせた取り組みをしないと、成果が実感できないからです。正しい方法で効率的に勉強してください。先に触れた質の高い勉強とは膨大な量をこなしながら身につけるものです。今後は量から質へ転換すべき時期です。

③ つらい時は抱え込まず、必ず相談。

暗い表情でも構いません。これからはみなさんの表情もチェックしながら声をかけていきます。みなさんは苦しければ無理に明るくふるまう必要もありません。とにかくSOSをぜひ発信してください。貴重な時間を使い切るためには、前を向いて取り組むしかありません。しかしこれから先、不安から悩むことはたくさんあります。悩まないようにすることは不可能に近い話でも、悩む時間を短くすることはできるはず。何でも相談してください。

1, 2年生のみなさん 受験科目について考えたことがありますか？

3年生はこれまでの数か月間で受験勉強を進めながら、多くの悩みを抱え、克服してきました。これからも悩むことが多くなります。多くの生徒の悩みである受験科目について、ここでは触れていきます。

受験科目を悩む理由は二つだけです。

1) 第一志望に合格するために不得意科目を克服する必要がある、それができるか？という不安。

2) 受験を有利にするために、不得意科目を受験科目から外す、という選択をするかどうか。

つまり、受験科目を中心に受験を組み立てるか、志望大学を中心に受験を組み立てるか、という話です。

「第一志望を受験しましょう。」

1, 2年生のみなさんには強く訴えます。

受ける大学を第一志望にするのではなく、第一志望を受験するために準備をします。そのために文理学院をフルに使ってください。みなさんにも時間を用意してもらいますが、がちりタッグを組めば大丈夫です。その若さを使うに値するのが大学受験であると文理学院では考えています。ただし、中途半端な取り組みでは全国の猛者たちには勝てません。一所懸命、一心不乱、血眼になって取り組みましょう。まだ時間はありますが、余裕はそれほど残されてはいません。

受験科目を考えるということは、自分の弱点と向き合い克服のための具体的な行動に移すということです。思い立ったらすぐ相談してください。文理学院は全力であなたの受験をバックアップします！

今回紹介する文理の講師は、大月校舎 校舎長であり英語担当の **青木 敦生** 先生です。

静かそうな、おとなしそうな外見に騙されてはいけません。実はとても熱い先生で、時には厳しく生徒にグイグイ切り込んで行きます。人の親となり、親の思いも知り、一層生徒指導に熱が入っています。話をしても“親になって強く、優しくなったね”と感じる場面が多くなりました。

大月校舎は、都留高校、上野原高校を中心に、近年では甲府南高校や甲府東高校に通う生徒も集まっています。これだけ多くの高校が対象となると、指導も難しいことがあるのでは？と思っていましたが、そんなことはお構いなし。〇〇大学を受験するならこのレベル、△△大学を受験するならこのレベルまでは達しなければ、と生徒のやる気を引き出し、文理お得意の“とことん指導”で日々生徒に対応しています。先日も夜中12時ごろに校舎へ行くと、「今、面接指導が終わりました。」と清々しい笑顔で話していました。本当に面倒見よく生徒指導をしています。そのためか、定期試験が終わるころにはマスクで口を覆い、話すことさえつらいほど体調を崩します。体力作りも忘れてはいけない、と思いながら見えています。

センター試験まであと3か月。体力の続く限り青木先生の闘いは続きます。生徒と共に。カル〇ー(お菓子メーカー)のじゃ〇りこ(商品名)を食べながら・・・。

■ブログには各校舎の情報満載！スケジュール、講師のつぶやき、自分勝手なメッセージ・・・

校舎ブログをホームページから、チェックしてください！

■第一志望合格のために、スタッフ一同全力で生徒を応援します。悩みは一人で抱え込もうと

せず、いつでも、何でも相談してください(生徒のみなさんも、保護者様も)。

2年生秋季講座開講(開講中)

無料体験授業受付中。ぜひお友達を紹介してください！

編集後記

和歌の美しさを感じるにはよい季節になりました。
英語の難しさを実感するにはよい季節になりました。
数学の哲学的な部分を学ぶにはよい季節になりました。
歴史の深さを知るにはよい季節になりました。
勉強するにはよい季節になりました。
自分を鍛えるにはよい季節になりました。

勉強しろー！

【い】